

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SOU PERSONAL 北谷			公表日	R8 年 5月 22日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	基準を満たしている。	活動スペースの確保と安全管理を継続し、子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準人員よりも多めに職員を配置している。	子どもの状態や利用人数に応じたプランナー配置を行い、個別対応の充実を図ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		環境整備を進め、可能な範囲でバリアフリー化の検討を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	常に清潔を保てるように意識している。	清潔で快適な生活空間の維持と感染症対策を引き続き徹底します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	活動や特性に応じて、環境設定している。	個別対応が可能な環境を整え、安心して過ごせる体制を維持します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		プランナー全体でPDCAサイクルを意識し、業務改善に取り組みます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎月アンケートを実施している。	保護者様の意見を積極的に把握し、業務改善にラボ全体で出来る範囲内で繋げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		プランナーの意見共有を継続し、迅速な改善を行います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		外部評価の活用と改善への反映に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	事業所内で研修もおこなっている。	研修や自己学習の機会を確保し、専門性向上を図ります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	各専門職がプログラムを考案している。	支援プログラムの作成・公表を継続し、プランナー間の共有を徹底します。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		適切なアセスメントを行い、ニーズに基づいた計画作成を行います。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	新規児童の情報などを一括で共有する物がある。	プランナー間での共通理解を深め、最善の利益を重視した支援を行います。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	児童情報などをしっかり共有している。	計画に基づいた支援の実施と情報共有を徹底します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		日々の観察と評価を継続し、支援の質向上につなげます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を必ず入れるように作成している。	ガイドラインに沿った支援内容の設定を継続します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	シートで専門職が管理している。	チームでの活動立案を継続します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎回固定化しように意識して取り組んでいる。	多様な活動を提供し、固定化防止に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	児童をしっかりと評価し、個別と集団で分かれて活動できている。	個別活動と集団活動を適切に組み合わせます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎回グループ分けなどをスタッフ間で話し合い、支援に備えている。	事前打ち合わせを徹底し、チーム支援を強化します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		支援後の振り返りを行い、改善につなげます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		記録の徹底と検証を継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い、見直しをおこなっている。	定期的なモニタリングと計画見直しを行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	1		基本活動を組み合わせた支援を継続します。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	選択肢を提示して課題内容を選択してもらったり、自身でやりたいことを課題の中に取り入れたいしている。	自己決定を尊重した支援を行います。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		関係機関との会議に適切なプランナーが参加し、情報共有を図ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		次年度は、医療・福祉・教育機関との連携を強化できるよう体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3		学校との情報共有と連携を継続します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		就学前機関との連携と情報共有に努めます。相談員との連携を強化。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		進路移行時のお子様の情報提供（個人情報使用同意書の範囲内）を適切に行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		専門機関からの助言や研修機会の充実を図ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		他のSOUラボでは、イベントを開催できている地域もあるので、ノウハウを学び、今後取り入れていきたい。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		他のSOUラボでは、イベントを開催できている地域もあるので、ノウハウを学び、今後取り入れていきたい。地域交流の機会について検討を保護者との情報共有を継続し、共通理解を深めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	特に言語ニーズの高い児童の保護者には、発語までに必要な成長過程を軽く伝えつつ、今はどう対応するのが最適かを、自宅でも簡単に実施出来る内容へ言い替えて伝えている	家族支援の充実と情報提供を行います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時にしっかりと説明をおこなっている。	利用時の丁寧な説明を継続します。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		お子様や保護者様の意向を尊重した支援を行います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1		支援内容の説明と同意取得を徹底します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	お迎え時に本日の活動の内容と共に、困り感なども定期的に確認している。	相談支援と助言の充実に努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		保護者交流の機会の充実を図ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		苦情対応体制を維持し、迅速な対応を行います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	SNSを活用して、どのような療育をおこなっているか具体的に内容や狙いなどを発信している。	SNSや通信等による情報発信を継続します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		個人情報管理を徹底します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		分かりやすい言葉や方法を用いた意思疎通に努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		地域に開かれた事業運営に向け、イベント等を検討。
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		各種マニュアルの周知と訓練を継続します。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3		BCPの整備と防災訓練を実施します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		服薬に関しては、情報共有されている児童もいるが、全員かどうかは定かでない。毎年度保護者様へ基本情報更新のヒヤリングを行う。最新情報アレルギー対応の徹底を図ります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	アレルギーを把握した上で、イベント時などの軽食提供をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		安全管理に関する研修と体制整備を継続します。

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		安全計画の周知と保護者連携を強化します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		ヒヤリハットの共有と再発防止を徹底します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を全スタッフ受講している。	虐待防止研修と意識向上を継続します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束についての研修を全スタッフ受講している。	身体拘束に関する説明・同意・適切な対応を徹底します。